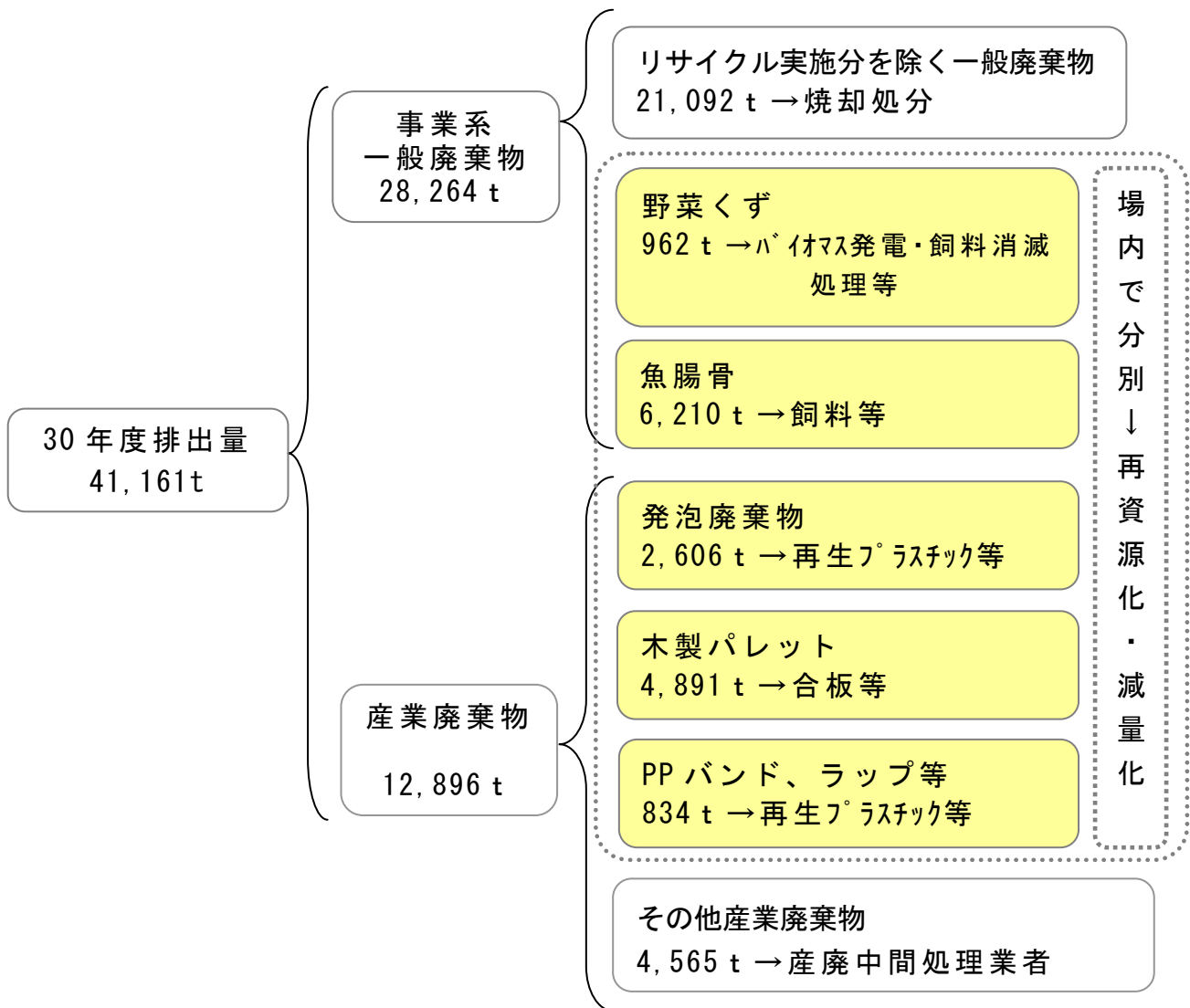


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



※廃棄物内訳は単位未満を四捨五入しており、内訳の合計と全体排出量が一致しない場合がある。

○一般廃棄物の排出量は28,264トンであり、このうち清掃工場焼却処分されるごみは約75%の21,092トンです。野菜くずは962トン、魚腸骨は6,210トンが再資源化されており、段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。

○産業廃棄物の排出量は12,896トンであり、発泡廃棄物2,606トン、木製パレット4,891トン、PPバンドやラップ等834トンが主に場内で分別され、再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く4,565トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化やサーマルリサイクル(熱回収)等されています。

○市場で排出された41,161トンの廃棄物のうち、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の15,503トン(全体の約38%)は、主に場内で分別し再資源化業者に持ち込まれています。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。